

品質リスク可視化サービス

品質リスクを可視化し、これをもとに業務改善を支援するサービスです。

サービス概要

1. 業務と業務で使用している経営資源、および、相互の依存関係を可視化します。
2. 品質リスクを体系的に評価します。
 - リスク評価の枠組みは、ISO9001 に準拠しています。
 - リスク評価方法は、要因特性分析に重みづけをした方法を採用しています。

サービスの特徴

1. 品質管理に対する全体最適化の要求

製品やサービスの品質向上のためには、上流工程から下流工程までにわたる全体を最適化した管理が必要となりますが、現状では、例えば、営業、設計、製造等の各工程ごと、もしくは、各拠点ごとの個別最適化となっているところが、少なからず見受けられます。また品質事故に対する原因究明においても、この傾向が見受けられます。このような個別最適化は、一般的に特定の部分に過剰な対策を取ってしまう傾向があり、対策費用がオーバースペックぎみになりがちです。これに対して、本サービスでは、上流工程から下流工程までにわたる全工程のリスクを俯瞰することができるので、これに基づいた全体を最適化した管理が容易になり、対策費用の配分も最適化され、結果としてコストの削減が期待できます。

2. 品質事故に対する早期解決の要求

品質事故が発生した場合には、早急な原因究明が望まれますが、製品製造やサービス提供の工程、および、拠点が多岐にわたっている場合は、原因の絞り込みにかなりの工数と時間を要することになります。これに対して、本サービスは、不具合の発見場所から、上流工程の関連する要因をリスクの高い順に抽出できるので、各工程、および、各拠点到わたる原因の絞り込みの際の作業負荷の軽減や時間の短縮化が期待でき、結果としてコストの削減が可能となります。

品質リスク可視化ステップ

1	業務、経営資源の洗い出し	対象とする部門の業務活動と業務活動で取り扱う経営資源を洗い出します。
2	経営資源分析	洗い出した経営資源に対して、相互依存関係の特定と影響度評価を実施します。

3	リスク分析	洗い出し た経営資源に対する脅威や脆弱性の評価を実施します。
---	-------	--------------------------------

プロジェクト完了までの工数とスケジュール

1. 各ステップごとに1回の訪問と次のステップまでのメールでの問合せに対応します。
2. 各ステップごとの間隔は、1～2週間を想定しています。
3. お客様の規模（部門数や拠点数など）によって、同じステップを複数回実施する場合があります。